

めざそう！人口5000人をキープ！

10年後も

いちまん

ひとみ

10000の瞳

北御牧地区地域ビジョン

空と大地とふれあいの郷…北御牧  
—この地で本当の豊かさと幸せを見つけよう—

御牧ふれあいの郷づくり協議会

北御牧地区  
地域づくりのスローガン

空と大地とふれあいの郷…北御牧  
—この地で本当の豊かさと幸せを見つけよう—

豊かさや幸せについての思いは一人ひとりがちがっていません。しかし、本当の豊かさは物質的なものだけではないと私たちは気づき始めました。

かつてアケボノゾウが闊歩した千曲川中流低地。農業を育んできたねばっちょ土壌の天空の八重原台地と御牧原台地は、蓼科山麓の豊かな地下水を涵養して源として在り、鹿曲川は両台地を削り豊かな低地を形成しました。私たちは、この豊かな農村景観のなかで日々の生活を営み続けています。この地で私たちが感じる幸せは、人と人とのふれあい(結びつき)の中に見つかるのではないのでしょうか。

御牧ふれあいの郷づくり協議会では、先人たちの歴史を振り返りながら、ふれあいのなかに共に生きる社会を創造していきたいという想いを込めて、これを地域づくりのスローガンとしました。

オオルリシジミと食草のクララ

地域ビジョン〈10年後も10000の瞳〉ができるまで

豊かで幸せな暮らしは、ずっと続いてきた

北御牧で暮らしている私たちは、「本当の豊かさや幸せ」にかなり近いところにいるに違いありません。それは、何年も前からずっとそうだったし、1年先もあまり変わらないでしょう。

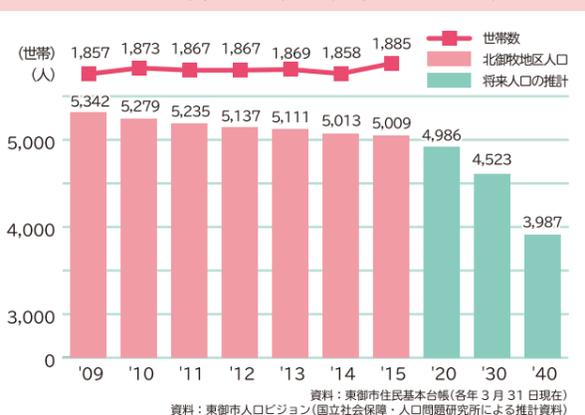
しかし、10年先、20年先も変わらないかと言うと、どうもそうではないようです。

東御市の人口は、2005年(平成17年)をピークに年々減少しています。何も手を打たなければ、現在の3万人の人口が、2040年には2万4千人ほどに、中でも北御牧は、現在の5千人が4千人ほどに減っていると予想されています。20数年後の話です。

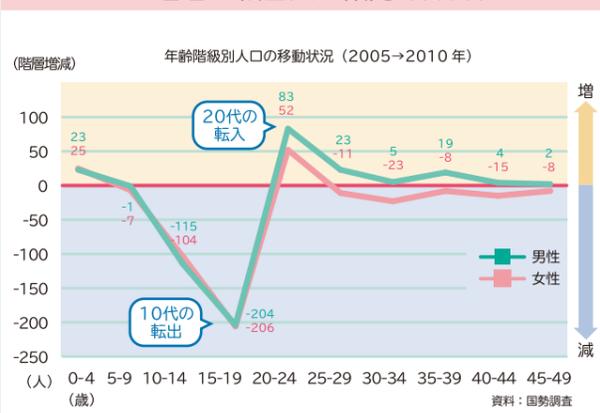
人口減少の大きな要因は、出て行く若者の数が、戻って来る数を上回っていること—これは数年前からすでに始まっていたことです。



人口・世帯数の推移と将来人口の推計



若者の転出入の傾向(東御市)



人口減少と活力低下の悪循環

人口の減少が地域にもたらすものは、

- 地域づくりの担い手が減る。共同作業がたいへんになる。(草刈り、雪かき、消防等)
- 地区の運営や伝統行事、イベント等が維持できなくなる。(神社、お祭り、区の親睦会等)
- 小学校、中学校の児童数が減り、地域に子どもの姿が見られなくなる。
- 空き家や荒廃地が増え、景観が損なわれる。
- 後継者がいなくなり、農業や産業が衰退する。

など、地域の活力の低下です。もうすでに北御牧で起きていることもあります。こうして、人口減少は地域の活力を低下させ、それがまた人口を減少させるという悪循環を生むのです。このまま何も手を打たなければ、10年後、20年後の北御牧は「本当の豊かさや幸せ」からかなり遠ざかってしまうことでしょう。



ワークショップ開催風景(平成27年)



地域づくり講演会開催風景(平成27年)

そこで今「地域ビジョン」

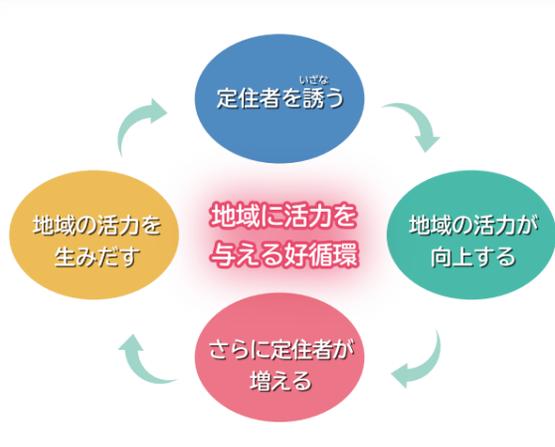
この2年間「地域ビジョン」作成に取り組んできました。住民による3回のワークショップや、委員を公募するなど、住民の声を最大限に生かして作業を進めました。

ビジョンの核=地域が目標とする10年後の(将来像)は、平成16年の合併時の「10000の瞳」を借用しました。日本全体が人口を減らす中で、今の人口を保とうというかなり大胆な目標です。

私たち自身が元気で生き生きと暮らすことはもちろんですが、特に若者・子ども・定住者を増やすことで「地域が人を呼び込み、さらに地域に活力を与える」好循環をつくりだそうとしているのです。

また、将来像の実現に向け「みんなで取り組むこと」を7つ示しました。これをもとに、皆さん一人ひとりに、何ができそうかをぜひ考えていただきたいと思います。

北御牧小学校児童数の推移と推計



北御牧ならできる

北御牧には、たくさんの宝物があります。ちょっと無謀に思えるこんな大胆な目標でも、きっと達成できるに違いありません。そのことに自信を持ち、10年後の明るい未来をめざして、共に頑張りましょう。

———の地で本当の豊かさと幸せを見つけよう———  
空と大地とふれあいの郷…北御牧

# 人口5000人をキープ 10年後も10000の瞳



みんなが元気で  
生き生きと暮らしている



若者と子どもが  
増えている



戻ってきている

住み続けている

移住してきている

移住・定住者が  
増えている



みんなが生きがいをもって、  
笑顔で暮らせる地域にしよう

- ・人のつながりを深める工夫
- ・楽しいイベントや行事の工夫
- ・みんなが行事に参加し、関わるための工夫
- ・みんなが集える場や機会づくり

いつまでも健康で、安心して  
暮らせる地域にしよう

- ・健康寿命を延ばす工夫
- ・買い物支援など助け合いの工夫
- ・インフラの整備

子どもたちが北御牧で暮らす  
楽しさを味わえるようにしよう

- ・ここでしかできない子育てを考える
- ・日常的に外で遊べる環境づくり
- ・将来をにう人材の育成
- ・保護者のネットワークづくり

農業や産業をもっと  
盛り上げよう

- ・農業のシステムの改革
- ・農産物売る工夫
- ・新規就農者の受け入れ、支援
- ・起業促進、雇用拡大

若者が生活の基盤をもち、  
活躍できる地域にしよう

- ・起業促進、雇用拡大
- ・地域づくりへの参加促進
- ・出会いの場づくり

地域の宝を守り、  
未来に引き継ごう  
(豊かな農村景観・伝統文化・歴史)

- ・荒廃地を減らす工夫
- ・伝統文化の継承
- ・地域の宝の再認識

北御牧の魅力を広く知らせ、  
観光客や移住者を増やそう

- ・広報活動、情報発信の工夫
- ・観光資源の開発、観光の活性化
- ・移住定住促進、受け入れ体制整備
- ・空き家・空き農地の情報収集、有効活用

※H27年度に行った3回の  
ワークショップから出されたアイデアや  
すでに実施している取り組み

歩いて登下校できる環境づくり

買物や雪かきなどの  
助け合いのシステム作り



憩いの家などを利用し  
カフェや朝市を開く

ウォーキングやサイクリングの  
コースとマップを作る

おしゃれな看板  
(道案内)の設置



北御牧の美味しいもので  
農家レストランを開く

北御牧の魅力を伝える  
ツアーの企画・体験

北御牧十景を選び  
ビューポイントマップを作る

気軽に話し合える場所が  
あったらいいな



天空の芸術祭の開催

支えあい台帳の作成・活用

年配者によるしめ縄・  
おやしき作りなどの講座開催

じゃがいもチップスなど  
ご当地グルメの開発



自然散策・農業体験型の  
婚活・合コンイベント

隣接区と交流を持ち  
行事等を合同開催する

世代間交流会の開催

北御牧のホームページ・  
Facebookページ作り

宿泊業が北御牧の魅力をPR

月に1度芸術むら公園で  
子どもと遊ぶ日を設ける

子どもたちのリーダーシップ  
(ジュニアリーダー)を育成する

# 笑顔と宝物がいっぱい 空と大地とふれあいの郷 北御牧



北御牧保育園 お散歩



未来にはばたくみまきっ子 小学校運動会



ケアポートみまきで元気に過ごすお年寄り



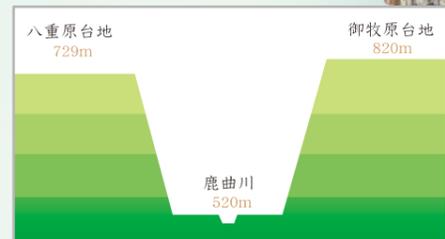
八重原米の作付け風景



火のアートフェスティバル (アートキャンドル)



北御牧中学校 地区一周駅伝



オオルリシジミ観察会



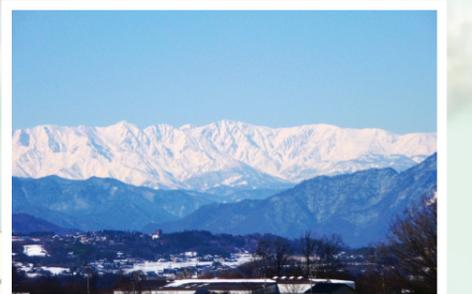
御牧太鼓



冬季スポーツ大会 (ボッチャ)



ねばっちょ (粘土質の土壌) で育つじゃがいも



御牧原から望む北アルプス



天空の芸術祭 「稲架の衣替え」



「牛に引かれて善光寺参り」の伝承地

Map labels include: 牧ヶ原, 羽毛山, 千曲川, 島川原, 布下, 常満, ケアポートみまき, 光ヶ丘, 大日向, 下八重原, 白樺, 切久保, 白土ばれいしょ・スイートコーン, 八重原用水, 八反田, 御牧原北部, 「風と大地から生まれた生命」, ブロッコリー・冬至用かぼちゃ, 上八重原, 登り窯, 本下之城, 田之尻, 御牧原南部, 中八重原, 鹿曲川, 一本ぐるみ, 畔田, 田楽平, 宮.



## 地域ビジョン実現のために



- 地域ビジョン実現のために何よりも一番必要なのは、今これを読んでくださっているみなさん一人一人の想いやアイデア、そして力なのです。
- ぜひ身近な人とビジョンのことを話題にしたり、仲間を集めたり、できそうなこと(小さなこと、簡単なこと、楽しいこと)から始めてみてください。
- 活動を始めようとするとき、進めようとするとき、自分たちの力だけではどうにもならないこともあるでしょう。そんなときは、区の役員さんに相談したり、各種団体に働きかけてみてはどうでしょう。
- 「御牧ふれあいの郷づくり協議会」は、関連する分野ごとに各部会が事業計画を立て、各種団体や行政と連携しながら、計画を実行していきます。それと同時に、みなさん一人一人の声を活かし、活動をサポートすることも協議会の大事な役目です。どうぞ気軽に声をおかけください。
- 活動をさらに発展させていくために、積極的に情報を発信し、みんなで共有していくことも大切です。そんなときは、協議会の広報紙等をぜひご利用ください。



## 「御牧ふれあいの郷づくり協議会」とは

平成26年3月に失効した「北御牧地域審議会(合併に伴い新市に設置された北御牧地区の住民意見を反映するための会議)」に替わる新たな住民組織として、平成26年9月に発足しました。

北御牧地区の住民と関係する各種団体等とが連携し、自主的・主体的に地域づくりを行うことで、健康で明るく豊かな活力ある住みよい地域社会をつくりあげていくことを目的としています。

協議会は、これまで北御牧地区を単位として活動してきた活性化研究委員会と生涯学習まちづくり推進協議会を再編し、区や分館をはじめとした約80の各種団体で構成されており、今まで取り組んできた団体等の事業を継続するだけでなく、将来を見据えた新たな事業(「地域ビジョンの作成」や「天空の芸術祭」等)を行っています。

## 御牧ふれあいの郷づくり協議会 組織図

